

「認知症ケア特別講演会」アンケート集計

R1.10.20 (日)

① あなたの所属事業所を教えてください

特別養護老人ホーム・・・10名	介護老人保健施設・・・17名
訪問介護事業所・・・6名	デイサービス・デイケア・・・22名
グループホーム・・・10名	小規模多機能・・・1名
介護療養型医療施設・・・1名	病院・・・31名
居宅介護事業所・・・12名	有料老人ホーム・・・8名
行政・・・3名	福祉系学校・・・2名
<その他>	
認知症初期集中支援チーム員・・・1名	訪問看護ステーション・・・3名
地域包括支援センター・・・1名	救護施設・・・1名
短期入所生活介護・・・1名	所属なし・・・2名
	未記入・・・3名

② 職種を教えてください

介護職員（介護福祉士含む）・・・69名	介護支援専門員・・・17名	
ホームヘルパー・・・5名	看護師・・・32名	福祉系学校の学生・・・0人
<その他>		
作業療法士・・・6名	社会福祉士・・・2名	生活相談員・・・1名
精神保健福祉士・・・3名	保健師・・・1名	介護福祉士養成施設教員・・・1名
管理者・・・1名	未記入・・・3名	

③ 本日の講演会はいかがでしたか

大変良かった・・・114名	良かった・・・19名
期待したほどではなかった・・・1名	未記入・・・1名

<感想>

- ・色々参考になった。
- ・自分の親も高齢で認知症状も時々見られる。たまにしか会わないので、対応に苦慮しているのが凄いい良かった。
- ・ゆっくり話を聞いたりすることを避けてきた自分を反省し、親ともっとじっくり話す機会をもちたい。
- ・認知症の方々の想いを聴き取りくみ取り、質の高いケアをいけたらと思います。
- ・認知所の方と関わる中で、自分の声掛け・対応の仕方が間違っていることに気づけました。
- ・認知症の勉強をもっとしていきたいと思える講演でした。
- ・聴き取りくみ取る、忙しさに忘れてしまいそうな基本の志を改めて刻むきっかけになりました。
- ・前は博多で繁田先生のご講義を受講しました。前回同様とても分かりやすく、温かい気持ちになれるご講義でした。寄り添う事、共感する事、とても奥深く話をしていただき自分磨きができたとおもいます。
- ・認知症の方が安心して住める町を目指して私達も頑張りたいです。
- ・共感の奥深さ、相手の自己効力感を意識した会話ができる様に勉強します。まだまだ経験不足です。セカンドステージに向けて、改めて頑張ろうと思えます。
- ・共感ということを改めて考えさせられました。運転や薬の問題をあえてしっかり本人と話をする。

今まで逃げていたような支援であることに気が付きました。

- ・またお話をゆっくり伺いたいと思いました。本当に暖かい学びにつながったと思います。
- ・頭の中で思ったことを筋道たてて説明していただいた気持ちです。わかりやすく楽しかったです。
- ・ご本人様の思いを想像する大切さ、また自分に置き換えることを思う大切さを改めて思いました。
- ・具体的な実践目標を考えることができた研修だった。
- ・担当医師との関わり方を教わった。先生との信頼関係も必要で、ちゃんと伝えることができる、記録やデータを日頃から取り組む。
- ・事前にインターネットで先生のことを少し拝見させていただきとても楽しみにしていました。いつかは平塚へお伺いしたいです。
- ・共感をする時、自分自身が納得しきれず、そうだねと終わらせていたので、その相手にイライラすることもなくなると思うので、よく考えて対応したいと思う。
- ・職場の職員に聞かせたいです。
- ・私も退職して、地域で認知症の方々と共生できるようになりたいと模索しております。プロジェクトの立ち上げも夢ではないかと。発信し、協力者の方々に力をお借りできればと勇気をもらいました。
- ・先生の優しさが伝わってくるととても良い話でした。専門士としてこれからまだまだできることがあるということも分かった。また、お話が聞けることあると嬉しく思います。(先生のカフェに行ってみたい)
- ・認知症の方への介護というより、人対人は「もしこれが自分だったら」「もしこの人が自分の親だったら」と置き換えることを念頭に仕事をしていきたいと改めて思いました。
- ・目からウロコでした。受ける側の気持ちを大切にケアをしていきたい。
- ・対応の具体的な方法の基となる考え方にフォーカスするという部分をわかりやすく話していただき有難かった。質問に発見があって共感するという反応ができるようになりたいと感じた。
- ・さすがに精神医だと感銘しました。専門医の考え方は安心しますね。共感の捉え方をもう一度教えていただき考えさせられました。
- ・認知症思慮に寄り添うことは看護ケア全てのことに繋がることだと再度痛感しました。寄り添えるナースになりたいと思います。
- ・共感の意味が大変勉強になりました。今まで寄り添うことで認知症は安心するのだと勝手に思っていました。
- ・医師として、自宅の提供・地域交流、輪をどんどん広がっている状況の引き込まれ、今後の自分の動向にも影響を与えてもらい感動しました。
- ・大切なワードをたくさん受け取り、自分のケアを振り返り、今後に活かしたいと思います。
- ・とても感動するお話でした。
- ・認知症の方と接する心掛けが少し分かりました。
- ・認知症の方に対するケアを全てこちら（施設側）の判断で決めており、本人の決断を採用できていないことに気づかされました。大切なこと見失ってないか改めて考えるきっかけになった。
- ・先生の体験を交えたお話で分かりやすかったです。
- ・ケアをする者として大切なことは利用者様との信頼関係なのではないかと思いました。また、共感することの意味を教えていただき、とても勉強になりました。

- ・ものとり妄想への共感の話が良かった。
- ・自分が認知症になったらと考え、誠実なケアをしていこうと思います。
- ・毎日グループホームで働くと、どうしても仕事になってしまいます。私は家族のように関わりたいのに、そうはできない職場だったり環境なので、思うようにケアができなかったりします。今日のお話を聞いて自分の思うようにやってみようと思えました。
- ・深い内容で勉強になりました。
- ・認知症の人に共感するということは発見を伴うということに私自身も発見がありました。
- ・寄り添うことの大切さ、意味を再確認できました。
- ・現職場で直面している内容（免許・服薬）の話で、とても参考になりました。今一度共感をし直して対応してみたいと思います。
- ・「本人に寄り添うといことを自分のこととして置き換える想像力」この言葉に感銘を受けました。パターン化しがちな支援一つ一つ見直していけたらと思いました。貴重な機会になりました。
- ・小細工ではなく、本人の気持ちに寄り添った介護ができるように頑張りたいと思います。
- ・傾聴・共感ということが理解できた。
- ・人として接する、寄り添うことがよいケアとなる。時間がかかるかもしれないけど、寄り添うことで介護者のストレスも減るのだろうと感じました。業務優先にならないようにスタッフと話し合いをしていきたいと思いました。
- ・若い頃に良くしてくださった人に似ていて、初めてお会いしたのにすごく親近感があり、とてもよく講演の内容が体にしみ入った感じです。私の職場は、中～重度の認知症の方が多く、日々のケアに追われている状態で、スタッフも体力的にも疲弊していますが、入所者の方と対話する気持ちを持ち続けていこうと思います。
- ・今までより深い考察が出来るように分かりやすく考えられるようになりました。興味がわくように分かりやすく話していただき、今後のために活かせるように思います。
- ・講演を聞きながら、職場での仕事での関わりを考えてすごく勉強になりました。観察する目や心を聞き取る大切さを勉強させてもらいました。
- ・自分の気持ちにも嘘をつかないよう、努めようと思いました。
- ・とても実りの多い講演でした。自分の病院でも今後の認知症ケアに活かしていきたいです。
- ・寄り添うという言葉はよく聞きますが、具体的な方法、コミュニケーションを図ることが重要である、ロールプレイをしてみないと実際できないように思いました。
- ・認知症ケアにあたるについて、本人の気持ちに寄り添うことで家族など見えてくる。本人だけのケアでない。
- ・「共感」という言葉の意味が理解できたように思います。全体的に大変分かりやすく、私の心に入ってくる講演でした。
- ・施設の利用者を考えながら話を聞きました。基本である共感・傾聴を大切に寄り添っていきたくと再度思いました。
- ・課題をしぼって、事例や先生の考えを含めて講義してもらったことで分かりやすかった。
- ・誰にでも分かりやすい内容と進め方だったので、本当に身になります。通所の現場でもすぐに役立つと思いました。ついつい結果を求めて声掛けをしがちですが、明日から改めようと思います。
- ・薬を管理する「飲ませる・飲ませない」の前に、「飲みたい」「飲みたくない」という本人の意志が

大切であるということが心に残りました。逆に薬が好きで「飲まないことが不安」という気持ちの人には肯定していたのに、飲みたくない人の気持ちを知ろうとせず、自分勝手なことをしてきたと反省しました。

- ・ 現在現場でのケアはしていませんが、学生に伝えるうえで必要なことを学ぶことができました。改めて本人がどうしたいのか本人の思いに寄り添うことの必要性を考えさせられました。
- ・ 認知症の方に対する考え方がよく分かりました。
- ・ ケア可能性に新たな気づきがありました。病院の認知症ケアに認知症ケア専門士を入れてほしいと思います。認知症対応力の向上に貢献してほしい。
- ・ S I G E T Aハウスの活動とても興味が深かったです。「その人の人生を深く知ることで敬意を払える」とい言葉が印象に残りました。肝に銘じて明日から頑張ります。
- ・ 講演内容も良かったのですが、認知症カフェの立ち上げに興味があります。
- ・ 自分の行ってきたケアの振り返りにない心新たにした感じです。
- ・ 先生の講義は2回目で、文献からも勉強しましたが、先生は認知症という病気についても、一人の人としてどんな方にも尊重して接することの心を大切にすることを学びます。
- ・ 認知症の対応について再度考える時間をもてたことに感謝です。気づくことが多くありました。
- ・ 認知症ケアとは人を知ることであると感じた。
- ・ 認知症ケアの重要性を改めて考えることができました。S I G E T Aハウスの実践もぜひ見てみたいですね。
- ・ 認知症カフェに興味を持ちました。
- ・ 分かりやすかった。自分を振り返れた。
- ・ 具体的で分かりやすい講演でした。
- ・ 症例を通して、とても分かりやすかった。
- ・ 本人の自尊心を失わせないような具体的事例を通して、とても学びが多かったです。とても他人事ではありません。自分事として常に興味を持っていきます。現在認知症カフェを通して高齢社会の現状を見出し、カフェ開設の希望をしています。
- ・ 認知症ケアの仕方について改めて考える機会となりました。とても分かりやすく説明され明日からのケアに活かしていきたいと思いました。
- ・ 父も認知症なので、勉強になりました。
- ・ 考え方を考える講演だった。これからケアや医師への報告の時に活かしていきたい。
- ・ 担当利用者への関わり方はもちろんですが、親が認知症になった時の関わり方を考えさせられました。とてもあたたかい研修だったと思います。
- ・ 新たな気持ちで関われるきっかけになりました。
- ・ 今まで漠然と使っていた「寄り添う」「共感」の深い意味を知ることができた。実践で意識していきたい。
- ・ 認知症の人の想いを聴き取り、汲み取ることを再度心がけてみようと思いました。
- ・ 先生のお話を聞くことができ本当に良かったと思いました。自分の中にある偏見を改めて考えました。また自分の中に仕事に対する希望をみつけることができた感があります。
- ・ 中途半端ではなく、誠実な気持ちで話を聴き共感すると、認知症の人にも分かってもらえる、伝えることを教えていただきました。
- ・ 認知症対応・ケアには人員が必要。

- ・ 共感という意味、今までの自分の考え方が浅いものであったと反省しました。
- ・ 実際にいる認知症の方を思い出し、関わり方を見直すきっかけとなり良かったです。
- ④ 今後受けてみたい研修内容、研修講師などありましたら、ご記入下さい
 - ・ ユニチュードについて
 - ・ サービスは必要ないと思われる方達とのコミュニケーションの仕方
 - ・ 基礎的な認知症の内容の研修を受けてみたい
 - ・ 真に認知症の方を理解され寄り添われている方々の講義を受ける機会を作ってほしい
 - ・ 繁田先生の話がもう一度聞きたいです。
 - ・ ターミナル期、看取り期の関わり方（ご本人・家族・施設職員）
 - ・ 地域力を高める取り組み（地域で暮らす高齢者のみでなく若い人、子供含む）
 - ・ 認知症の方と密に関わる方々との意見交換できる研修
 - ・ 認知症カフェに関して知りたい
 - ・ 前頭側頭型の研修
 - ・ 独居の認知症の方や、認知症でご家族に障害のある方等、在宅で生活されている方々への支援についての取り組みの事例など
 - ・ 小坂先生
 - ・ 薬について（介護が必要な知識の取得）
 - ・ 病気に対しての最適な処置の仕方など
 - ・ リスクマネジメントに関すること
 - ・ 「NFTD」「グレイン病・ AGO」の症状の違い、明確な診断が出来なくても患者様のどのような症状に予測が立てられるかを勉強したい
 - ・ 中村伸一先生